

雑誌の図書館 magazine library



大宅壮一文庫

OYA SOICHI LIBRARY

- 大宅壮一と大宅壮一文庫
- 所蔵雑誌
- 雑誌記事索引  
(大宅式分類法)
- Web OYA-bunko 利用術

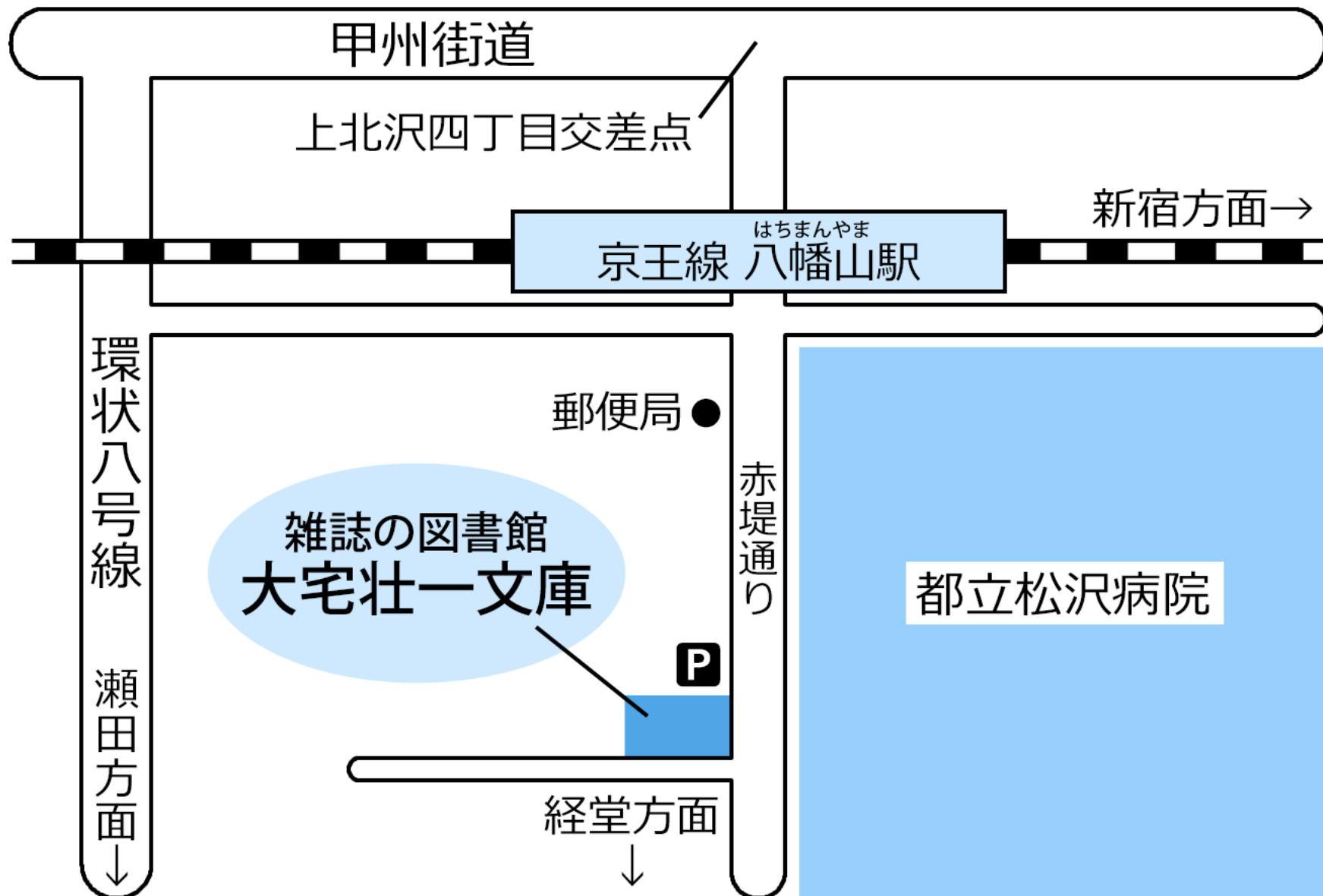


最大視認量  
2以上0.4未満  
八幡山地区  
居住者用車両  
を除く

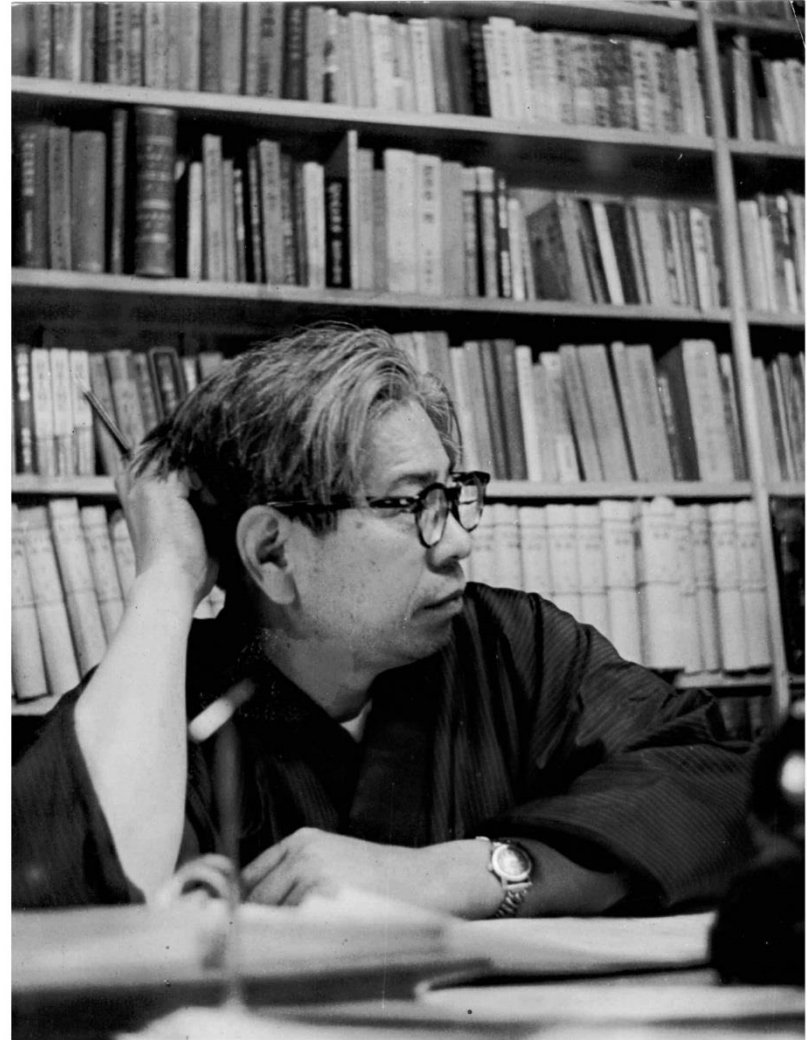
大 塚 団 地

100P

fruit  
Cafe



# 大宅壮一 (1900 - 1970)



## 大宅壮一（1900-1970）

「炎は流れる」「世界の裏街道を行く」「実録・天皇記」などの著作の他、新聞・雑誌・TV・ラジオで活躍。「マスコミ四冠王」などと呼ばれた。



全国の古書店などで購入した資料を、スタッフを雇い入れて整理した個人資料室「雑草文庫」は在世時より有名だった。



日本で初めての学校プールが作られた旧制茨木中学。中央奥で水車を踏んでいるのが大宅壮一。



## 印刷用表示

検索結果は1件です。



◆フリーワード:(大宅壮一)◆執筆者:(野村克也)

- 
- 1 **記事種類** 対談  
**タイトル** イーデス・ハンソン対談 346回 野村克也 ユニフォームを脱いだ“生涯一捕手”ただいま野球解説術を勉強中「大宅壮一さんの一言でやっと喋ることに自信がつけました」  
**執筆者** 野村克也／イーデス・ハンソン  
**雑誌名** 週刊文春  
**発行日** 1980年12月18日  
**ページ** 60 - 64  
**備考** || 野村克也[野球]略歴 ||

(C) OYA SOICHI LIBRARY 2023

以上1件

---

本サービスから取得したデータを大宅壮一文庫の許可なく複製することを禁止します。

Copyright (C) OYA SOICHI LIBRARY 2023



# 実録・天皇記

大宅壮一

昭和の怪物ジャーナリストが  
皇室タブーに切り込んだ圧巻の評論!

名著  
復刊


「むしろ  
天皇こそ  
最大の被害者である」

角川新書 定価：本体900円(税別)

『実録・天皇記』の資料収集のために古書を大量に購入し、資料分類をしたことが大宅文庫のはじまり。

THE CENTRAL R  
 文藝教育  
 中央公論  
 第四卷第四號

THE JUNKAN SAHI  
 旬朝日刊  
 第一號  
 大正十一年二月二十五日



第一號  
 第一卷  
 日每一デンサ  
 日發行



反省會雜誌  
 明治二十八年八月刊  
 第一號  
 京省都反會

會館雜誌  
 明治八年十月  
 第一號

風俗畫報  
 第一號  
 明治二十二年二月十日



THE SUN  
 太陽  
 第一號  
 大正十一年八月



THE ORIENTAL ECONOMIST  
 東洋經濟新報  
 第一號  
 大正十一年十一月五日

附錄  
 銀行及  
 歐米經濟  
 訪問錄  
 東洋商業時

西洋雜誌  
 江戸開物社

中學世界  
 大附錄  
 第一號

第一號	第二號	第三號	第四號	第五號	第六號	第七號	第八號	第九號	第十號
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

KING キンク  
 少年文壇  
 外國語學雜誌



かつて大宅壮一は学者や評論家が読むことを思いつきもしなかった大衆雑誌を莫大にコレクションして『雑草文庫』と呼び、同時代の泡沫現象の研究に没頭した。またその文庫を後続世代の心ある人びとのためにピラミッドの最下辺の石としてのこした。

— 開高健

個人資料室

# 雜草文庫



僕の診断書・13

# 大宅 壯一

繪と文 近藤 日出造

人と話して決して合趣をうたない。そうそう、そうなんだと決して頷かない。森羅萬象何ごとにも自分の解釋があり、その解釋を相手の言葉の切れるも待たずとうとうと述べたのである。相手のおしやべりは、自分の思の切れ間をつないでいるだけのものだ。

森羅萬象悉くに関する解釋のすべては、常日頃その半白の頭のヒキダシに入れてあるものではなく、しゃべっているうちに次々とのぼりけの奥の邊に組み立てられるものが多いらしい。

組立のきつかけは、相手の言葉である。相手がアというといの組立がはじまる。イという時はウエオと組立が終る。組立が終るや否やとうとうとおしやべりが開始される。これは一見傍若無人、失禮非禮の態度であ

るが、解釋のきつかけが相手の言葉だから、相手は面喰うとはいえないもの、話題をまつたく外されたような腹立たしきは覚えなない。腹立たしさを覚えなないどころか、頭腦と舌の廻轉の鮮かさに脱帽する。

この素早い廻轉は、思想とか主張とか抱負とか正義感とかいうような、めぐるワダチにひつかかるものをこの人が持つていないからだといえよう。

パッと頭にあぶくができる。パツパツとあぶくがいくつか固まる。その固まりをパツパツとこの人は吐く。それは非常に原始的且つ動物的な言葉だ。

さて、パツとあぶくができるということ、それは一面の眞理である……といいたい方

いっ。どつちでもそつちの希望通りに答えてやるよ」

この噓が事實かどうかは知らないが、單なる噓としても、中々にうがった噓だ。たとえばこの人は、自由黨候補の應援演説と左社候補の應援演説を、こたわらずに双方やれそうなんばいに見せる。

この人の強さはこの天衣無縫さにある。こ

もみんなトクをしたがつていっているんだ、という想像が自分を納得させるにちがいない。

誰も彼もが何らかの意味でトクをしたがつている。誰も彼もが物事の興味だけを追つてい。氣取ろうがもつたいぶらうが、トコトンの本質はこれだけだ、とジャーナリズムの永い游泳がこの人の考えを定着させた。



のあぶくは、無思想という「思想」のように思える。

こんな噓をきいた。

「君の所はどんな意見を希望するんかね。右の見方がいいのかい？ 左の観點がいいのかい？」

八・熊性をえくつて見せびらかすのに必要なのは豈男であり、大多数の人々の興味の對象は學説ではなく八・熊の方だ。そして豈男さえあれば、この營業方針は比較的容易に実績をあげ、次から次とあぶくが發生する。人の言葉に頷いている間などないほど「意見」や「解釋」が口から飛び出す。

(3) 昭和39年5月25日 (月曜日) 週刊読書人

仕事と密接に結ぶ  
總ての本を「民主的に」

「民主的に」は、この本が、この時代、この社会に必要であるという、一種の宣言である。この本は、この時代、この社会に必要であるという、一種の宣言である。この本は、この時代、この社会に必要であるという、一種の宣言である。

稀覯本のかずかず  
江戸時代から現在まで

「稀覯本のかずかず」は、江戸時代から現在までの稀覯本の歴史を、著者の独自の視点から、詳しく紹介している。この本は、江戸時代から現在までの稀覯本の歴史を、著者の独自の視点から、詳しく紹介している。

「大正13年にはどんなことがあって  
どんな人気者がいたか、というような  
民衆のライブラリーをつくりたい」

「つまらん本ほどいいんだ。  
一時大衆の間に圧倒的に受けて、  
今はもうゴミダメの中にあるものが  
いいんだな」

「僕の場合、一冊の本は百科事典の一項目に相当するのでね…それを引く可能性があるかないかで、その本の価値が決まる。

10万円の本でも、1万円の本でも差別しないね。

何万冊あっても、全体で一冊の本になる訳だ。」

「一冊十円の雑誌でも、  
カードをとるのに、  
丸一日はかかる。  
本を百万円買えば、  
収容する設備に  
百万円かかり  
二百万円人件費に  
かかる」





昭和30年に建てられた書庫

現在の様子



# 週刊新潮掲示板



田辺貞之助 フランスの祭りを中心にして、歳時記的なものを書きたいと思っておりますが、適当な参考書が見つからず、困っています。もしも、お持ちの



方がございましたら、ご貸与、またはご譲渡くださいませんか。よろしく。私の希望としましては、主としてフランス語で書かれたものがあつたらと思ひますが、日本語や英語で書かれたものでも結構です。どうぞよろしくお願いいたします。(東大教授・仏文学)

庄司 清 郵便の仕事をはじめてかれこれ三十年、また今年の暮れもたくさんの年賀状に囲まれて暮らします。今年の年賀状は十一億枚配達予定です。これは平常月の約三倍。どんなに辺りな、ふだん文通の途絶えている所でも、年賀状の一枚も配達されないという家はまずありません。

せん。日本人の一人年平均に出す手紙類は八十通、そのうち年賀状のしめる割合は十二通というのですから、いかに手紙でお年始のあいさつがかわされているかがおわかりでしょう。文人ほど、よく手紙を利用するといわれますが、米国では、平均約日本人の三倍手紙を交換しています。こうした手紙が、年末にはどっとたまるわけです。郵便のラッシュ、それはあまりみな様の体験なさらないことです。電車のラッシュは、その混雑にもまれ、身をもって体験されて、時差出勤をなさいます。また電話のラッシュは、お話し中の信号で体験されるでしょう。けれども手紙類のラッシュはポストのかけで、みな様のみえない所で行なわれています。そうしたラッシュを緩和するためにも、年賀状を出す期日を守ったり、あて先をはっきり銘記してください。ときには、国境をもとび越えて、心と心を結んでくれる愛の翼を、確実にお手元にお届けしたいと思ひますので。(東京中央郵便局長)

大宅 壮一 書物の整理を手伝っ

てくださる方を捜しております。男の方でも、女の方でも、性別は問いません。年齢、経歴、貴方の境遇、お望みの給与、その他についての希望条件などをなるべくくわしく書き、履歴書に写真を添えてお送りください。なお、来訪や、電話のお問い合わせはご遠慮ください。私の住所は東京都世田谷区八幡山町一九八です。お待ちしております。(評論家)

池田義信 戦時中、当時の社団法人、大日本映画協会が発行いたしました『映画年鑑』というのがありました。その本をもしどなたかお持ちの方がございましたら、お譲りいただきたいと存じます。たしかその年鑑は昭和十六年ごろから、二、三冊出ていると存じました。お持ちの方からのお知らせをお待ちして



おります。(三十七年度藍綬褒賞受賞・日本映画連合会事務局長)

姫 ゆり子 私のような舞台人は、ほんとうにひまのない毎日です。たまには母たちを連れて旅行でもと思ひながら、つい仕事の事に追われて、お流れにな

## 大宅文庫年表

1944年 大宅壮一、東京・八幡山に居を定める

1952年 執筆のため、本格的な資料収集を開始

1955年 ブロック造2階建ての書庫を建築

1956年 大宅式分類法による資料の整理を始める

1970年 大宅壮一死去(11月22日)

1971年5月17日 財団法人大宅文庫 開館



昭和50年頃の大宅文庫

雑誌の図書館 magazine library



大宅壮一文庫

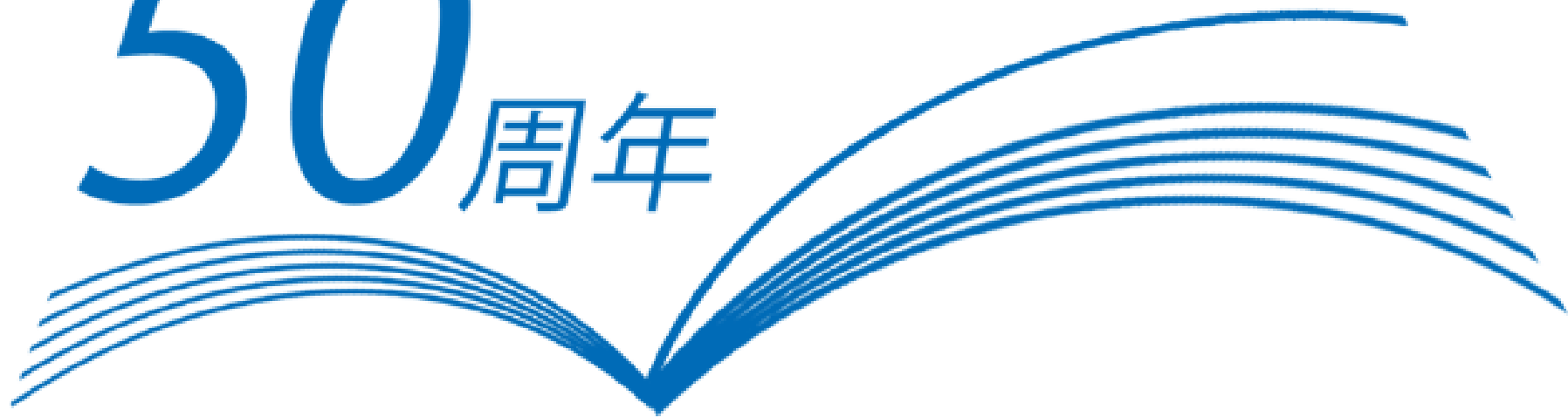
OYA SOICHI LIBRARY

- 1971年開館
- 所蔵タイトル 約1万3千種類
- 所蔵冊数 約80万冊
- 創刊号 約7,000誌
- 年間約600タイトル 1万冊が増加

書庫は閉架のため、通常非公開

皆様に支えられて

50周年



大宅壮一文庫

# 大宅文庫 3つの特徴

- 雑誌に特化した図書館
- 雑誌タイトルや書誌情報からではたどり着けない「記事」を採録して索引を作成していること
- その索引を独自の項目体系「大宅式分類法」で整理分類し検索することができること



2階

書庫

索引作成室

コピー&FAX室

階段

閲覧室

書庫

書庫

事務室

システム室

書庫

事務室

事務室

階段

玄関

書庫

書庫

書齋

検索室

1階

雑誌の図書館  
大宅壮一文庫

館内案内図

書庫

書庫

書庫

地階

書庫

書庫

書庫



非常口



火災報知器



消火器



避難はしご

